昭和二十五年（1950） 定價一ヶ月五十圓 一部賣二圓 磐城毎日新聞 六月十七日（土曜日） 第23号 （日刊）

磐城毎日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區内）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

御愛讀下さい

失業救濟緊急會議

町村の代表と職安が

管内二千余名の失業者に付て今後如何に取扱うべきかが緊急を要するものとなつて居り、獨り職業安定所のみによつては解決されない終局の問題となつてゐる、同時にアブレ勞務者に對する生活保護法の適用案が權限外の佐藤職安所長から提案されるに至つて、本會議は相當複雜な議論が飛出すことを豫想されてゐる、亦勞務者受入れに對する思想的感情問題の解決策等々會議の結果は注目されるであらう

十七日午前十時より湯本町役場會議室に於て二・四半期失業救濟事業の對策打合せを行ふが參加者は平職業安定所長、平、植田土木監督所長、戰災復興事務所長内郷、湯本、赤井、勿來、好間、平の各市町村代表でワクの擴大に就てアブレ勞務者に對する生活保護法に基く保護金の給與問題△事業實施上の諸規律に就て、其の他を協議する、なほ佐藤平職安所長は此の會議の後日事業主體の代表と共に上京、石城地區の深刻な失業狀態を明解ならしめる爲めに急速なる就勞ワクの擴大かたを勞働省に陳情することになつた

二千五百万円が見込まれてゐる

農業施設被害判明

神谷水路を始め九百万圓

平土地改良事務所管内農業施設昨十六日現在の被害狀況は△高久村上山口、井せき（損害約四十万円）△大野村柳生井せき（七十万円）同村柳生、護岸（二十万円）同村八莖、ゐせき（七十万円）同村駒込、水路（二十万円）△上小川村字上小川ゐせき（九十万円）同村農道（三十万円）同村水路（三十五万円）同村橋梁（三十万円）△川部村字小川水路（九十万円）△下小川村字下小川水ろ（百二十万円）同村水ろ（二十五万圓）同村水ろ（百万円）△平市上神谷水ろ（百万円）△川前村下桶賣ゐせき（四十万円）で之れは報告となつたもので本月末迄に更に增加する見込、六月災がいとして近く農林省に工費補助の申請をなし、九月末から復舊工事に着手することになつた、尚五月災がいの補助總額は平市二百二十万、郡部一千九十八万五千円で災がい額は約倍額の

社說

粗惡品を退治せよ

今度市内に配給となつた主食の麥が惡臭を含んでゐる外見はなんともない然し喰べると惡臭が鼻を突て食慾を減殺するものがある、これ等は原因の如何を追及する必要はない、吾々の常食の異狀であるから誰れにでも判斷し得る不正粗惡品の米或は麥であることはすぐにも判る

國民食生活の配給を一手に引受けてゐる食糧公團が斯うした米や麥を配給することは業務上の無責任であり危險この上もない遺憾事であると云はなくてはならない、今までにもしつ氣の含んだ麥粉や腐敗した甘藷馬鈴薯などおかまいなしに一律な配給で人間一人の榮養基準量などは考慮されてゐなかつたのである、これ等は經理上末端配給機關としてはどうにもならないと云うのであらうが、自由競爭の民間商店でこんな變質又は粗惡品が販賣されてゐたとしたらどうするか、言ふまでもない、商賣はなり立たぬし自滅となるばかりである、そこに獨占橫暴の非難は公團に向けられるものであるし、先の短かい公團ではあるが例え一日でも存續する限りは損得を度外して變質破損主食の配給だけはして貰い度くないものである

闇米によつて配給辭退する特權階級は限られた數であり、他の多數は公團に依存しその主食に生命を托つてゐることに思ひを致すならば責任も亦重くなくてはならない

保管中變質減損なども充分の對策を講じることは國家の損失を未然に防止することが出來るものである

吾々國民は食糧の不自由には辛い經驗がある、今尚その經驗を踏んでゐるのである、公有私有の差別がない、主食の保管には充分の留意を拂はねばならぬのだ、そして良質の食糧を國民に配給せしめる爲めに一段の方法と努力を心掛けられたいのである

麥類被害狀況

平食糧事務所調

平食糧事務所調査課では十六日現在豪雨による郡下市町村の麥類被害減狀況が判明した

町村	被害面積「反」	減收見込（斗）
發芽に依る大麥の減收見込		
平野	一四五	一四五
飯島	一〇五	一〇五
鹿島	九〇	一〇五
好間	一五一	一六五
勿來	二三六	一八九
川部	一〇	八
田人	二四一	一二一
小名濱	六五〇	一一七〇
泉	八九〇	三七三四
豊間	三〇〇	五六〇
江名	三〇	七九
草野	一九五	一九五
夏井	八七	三四八
高久	七二	七九
神谷	一〇二	一一二
小計	三、三〇四	一七、五五
流失に依る大麥の減收見込		
小名濱	五	六三
泉	六	一二七
豊間	一〇	一三五
江名	三	三六
夏井	三二	一五四
小計	五六	五〇五
合計	三、三六〇	一七、六六〇
發芽に依る小麥の減收見込		
草野	五五	五五
夏井	一八	二九
高久	七八	八六
神谷	二七	二九
小計	一七八	一九、九
流失に依る小麥の減收見込		
川部	一	一七
夏井	一〇	二四
小計	一一	三、五七
合計	一八九	三、四七

公民館講習會

石神モデル館に

公民館實務講習は來る二十九日、九時より相馬郡石神（縣モデル會公民館）に於いて開く、講師は次の通り、縣教育務務局社會教育課長今井豊藏、縣教委事務局社會教育課佐々木督、佐々木幸、坂下誠、縣立圖書部長桑原善作の各氏である

と見られてゐる

創作

啓子の結婚

（一）

芳太郎

阿武隈の山脈が靜かにうねりを見せて東南に走つてゐる、くつきりと澄んだ六月の大空に雲雀が氣持よく飛翔している、走る山脈にも初夏の息吹が強く感じられ山肌の美しさが眺める人々に自然の摸造の驚異を、偉大さを……そして淸々しいものを與へずにはをかなかつたそれにもまして野路の若芽は大陽に向ひてわが世を謳歌し、緣の樹々は喜々として樂しいリズムを奏で櫻の木々の若草は咲き終えた花の終始末でもするかの樣に伸び々と六月の微風を孕んでゐる、眞白な大道路を自動車が勢よく砂塵を擧げて走つて來る、その後にモウモウたる砂煙が長く尾を引く、啓子は二階の通信室の窓によりかゝつて窓外を眺めた微風が髮の毛を靜かになでる、胸に一杯誇りと自信を持たしてくれる樣な風、瞳に映ずる新鮮な繪模樣ウキウキとして胸のはちきれる樣ななんとなく嬉しいものを止め得る事が出來なかつた、誰れかがそつと啓子の顔をのぞきこんだらきつと明るいキクボを寄せて頬笑をしてゐた

それ程啓子には春の訪れと共に終戰後何回となく懷しい、そして待遠しい時節だつたらう、しかしその後に來る激しい哀しみのルツボにとざされることを予期しながらもこうした喜びを啓子にとつては泉を止めるより難かしかつた、啓子は大きな聲で山脈にうつたへたい樣な衝動に驅られた

春の訪れに啓子は何故その樣な幸福感を懷ゐてゐられるのだろうか？

しかし啓子にも惱が有つたそれは一週間前のことだつた、務めを終へて歸るといつもにもない母の機嫌だつた、夕飯を濟ませて後片附けをしてゐると母は待遠しい樣に呼んだ「啓子さん一寸」啓子はなにか胸をうたれる樣な氣で茶の間にゆくと、母はニコニコしながら「ネー啓子さんいゝ話が有るのヨー」「ナニーいゝぱなしつて―」「そうねー」なにか考へ込樣な身振りであんたの、一大事ヨー」母は啓子をじらしてなかなか云うとはしない「お母さんたら人が惡いわネー」「早くいゝなさいヨー」「結婚のこと」ポツンと母はそれだけを云つて啓子の顏色を窺つた、啓子はドキンと胸にかたいものがつきあたる思ひがしたが、なにしらん顏で應たへた「なんだー結婚のことつまんないワー」母はすかさず應しうして來た「なんですーそんな顏してそれに最も大事なことをつまんないなんてゆうことをゆうの―」「なにをゆうつて、つまんないからつまんないてゆうのよ」「だからそれがいけないとゆうのヨー」「それにネー、啓子さん、相手は守山炭礦礦業所の二階堂庶務課長さんの長男敏彦さんよー」啓子は默つて母のゆうことをきいてゐたが、敏彦とゆう名がでたので二度ビツクリした「それにネ！、二階堂さんからは家のお父さんもなにかとお世話になつていたし二階堂さんも是非と所望してゐられるんだからネ！」「お父さんだつてもういゝ年ヨー、それにお母さんだつて早く孫の顔が見たいしあそこらだつたら財産もあるし、いゝんだけどネー」彼女は沈默を續けた「お前さえ承だくしてくれたら万事うまくいくし、そう何回も緣談があるたびごとに斷はれるものでもないし」

農産物の量目品位

向上に檢査員會開く

平市食糧事務所では昨十六日午前九時より地方事務所に郡下農業協同組合の穀物檢査係員を集め檢査業務打合會を開催、次のことを協議した

△集荷指定業者生産者に對して隨時檢査業務趣旨徹底の會合を開く

△鑑定競技會、研究會を開催、檢査技術の向上を計る

△包裝、量目、品位、檢査形式について立會檢査の勵行

△いも類については開俵檢査の勵行、生産者、集荷業者に對する規格の周知徹底

△製品（精穀）檢査の徹底

△種子馬鈴薯の栽培地檢査

△菜種の檢査について

△輸入食糧の着地檢査

△包裝資材の豫備檢査

勞組幹部就勞運動職安へ

好間自由勞組伊藤副組合長外三名は十六日午前十時より平職業安定所佐藤所長と面會、五日間の雨で就勞日數が減つたが今月失業保險金を貰える範圍まで就勞させよと要求した、これに對し職安側では今迄ワク外の就勞を行つてきたし現在余ゆうは全然ないため今後雨が降つてもワク外の就勞は出來ない旨回答した

議會通過を見通し

平市新稅法の研究始める

平市稅務課では新しい地方稅法の七月國會通過を見越して每日朝の時間を利用して新稅法の研究に大童だが新しい稅法では現行稅法では課稅種目三十四に分れてゐたが新稅法は市民稅固定資産稅、自轉車稅、荷車稅、電氣ガス稅、鑛産稅、木材引取稅、廣告稅、入湯稅、接客稅、の十種となつて居り、市民稅は前の約六倍增となつてゐる、全体的には二十四年度と變らない然し新稅法が八月一日から施行される場合は今まで十二ヶ月かゝつて納入してゐたものを二十五年度は八月から來年三月までの八ヶ月で納入しなければならない事になり、昨年度にも優るぜい金納入難はまぬかれぬもの

人事ニュース

平稅務署會根直稅課長は直稅課長會議に出席の爲仙台國稅局に出張、十五日十八日歸廳の予定

・・・マ杯庭球豫選・・・

縣豫選は雨天の爲め延期になつてゐたが本十七日午前九時より磐女高コートで開く

古鍛冶町道路

阿部助役視察

市内古鍛冶町地内道路は雨降りの度びに洪水に洗れ市民の惱みの種となつてゐたが之れが改修をなすべく十六日阿部市助役、馬目市議は現場の視察を行つた

人生旅日記 （13）

商賣より超越して居る 自轉車屋の

鵜沼光さん

町名は宜彌町十三番地、通稱平市本町通り六丁目角に鵜沼自轉車がある是れでは何の變哲もないが表硝子の戸に麗々敷く書えてある文句の一種異相の感を起させるものは即ち（平市自轉車小賣業者として最高の納稅者となつた御禮に自轉車及附屬品を格安に差し上げる云々」と掲示してあることである

失禮だがあの店で平三五軒の同業者中で最大の納稅とは誰れから見ても變ならざるを得まい、これには必ず曰くがあることだらうと探訪して見れば稅務官吏の感情問題がせん在してゐるらしい、そして鵜沼さんの直情徑行さと商賣に超越した處が問題になつたのであらう、兎角今時の官吏の惡いことは健全良識の行爲はなくして何物かを要求するのが一般とは此間の消息を雄辯に物語るものが業者中の納稅最大額となつて現れたものらしい

家の中には「陰陽念珠館」との看板もある處を見れば姓名や身の上判斷も賴まれるとやる煩悶病院の院長さんらしい處もあつて容貌風采など氣にしない一

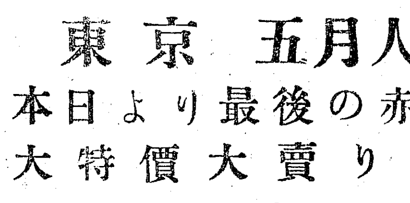
今後のあなたは

面を窺えば神來物の感なき能はずとも評しても過言でないかも知れない、兎に角哲人商人とも云ふべく商人としては變り種の存在であらう

それも其の筈、商賣は必ず儲けなくてもよいのだから利じんの數字を示してお客からそれを貰ふに至つては泡迄變つた商賣離れをしてゐる、眞實の生活者、浮世離れをしてゐる商人の鵜沼さんを書くこと斯くの如し

母コマ儀病氣療養中の處六月十五日午前八時九十三才を以つて永眠致しました 生前の御交誼を深謝し紙上を以つて御通知申上げます
追而葬送の儀は二十日午後一時より二時まで自宅に於て告別式を相營み好間村大舘光景寺に埋葬致します
昭和二十五年六月十六日 平市一丁目
施主 大塚駒太郎
親戚 鈴木德三郎
猪狩四郎
小松茂
友人總代 石山一治

東京 五月人形
本日より最後の赤札付
大特價大賣り出し



製造元・本間商店直賣
特約店 上原玩具店
平驛前通り

開店お知らせ!!
今月二十五日より七日間景品付きで賣り出します
雜誌書籍の愛讀者の皆々様何卒可愛がつて育てゝ下さい
平市驛前
ヤマニ書房

皆様へ贈る
特選 五月人形
元價大特賣
景品付
大賣出し
平市銀座通り 電二二三番
あるが家具店

炭礦災害者の增加

三病院を診療所に指定

平勞基署では管内の勞災補償保險法の適用を受けるものが二十三、四、五年度と年次增加する傾向にあるので既設の大日本炭礦病院、富ケ浦炭礦病院、常磐炭礦附屬病院では收容し切れぬ狀態から技術、設備、取扱ひ件數、地域、其他の点で大河内、竹林、永井の三病院を勞災保險法に基く診療所として新に指定し治療の万然を期することになつた尚同署管内で集計された勞働者死傷報告によると同署管内の事業所は二千二百、勞働者數は延六万三千人で二十三年度は死亡六八、重傷一、六一九、けい傷四、九三三、計六、六二〇人、二十四年度は死亡六四、重傷一、五三二、けい傷六、八一〇、計八、四〇六人となつて居り、千人率でみると二十三年は一〇五人、二十四年は三五人で、三十五人增、月別では八、九、十月が多い月となつて居る、また二十五年度、三月は現在死亡二三、重傷四二四けい傷一、二五八と例年より增加を示して居る、これらの災害のうち二十三、四五年度を通じて最も目立つてゐる事は炭礦災害が全体の約八十%を占めている事である

これに對する勞災補償保險請求件數は同平均千八百件で、實際に支拂ふ金額は豫算よりはるかに上回り請求件數支拂ひ金額に於て東北一となつてゐる

縣外生徒お斷り

校長會議で方針決る

平市内各校長會議は十五日平高商に縣外通學生の取扱ひ及び兒童生徒の服裝につき協議をした、その内縣外通學生に對し從來何等制限はなかつたが今後の入學生徒に對しては市内居住の寄留届け出をなした者に限るものとし寄留者以外は通學區域の以外入學せしめないことになつた、生徒の服裝と風紀の問題は從來種々取さ汰されてゐるもので殊に廢品回收による、換金方法は度を越して刑法上の問題まで引起す事例あり之等の面にも事前に家庭と連絡の上悪への芽を断ち切る方針などが協議された

印紙税集合検査

町村別に行ふ

平税務署では次の日程で印紙税の集合檢査を行なふ、尚指定當日檢査を受げた者ば内容に違反個所があつても罰金を課さない

平市十九日から二十一日迄(稅務署)二十二日小名濱、四ツ倉、勿來町、二十三日植田、江名、湯本町(各役場)尚檢査終了後抜打的の檢査を行ひ違反者には書類一通に付一千円の罰金を科し徹底的に取締ることになつた

配電永年勤續者

九氏表彰さる

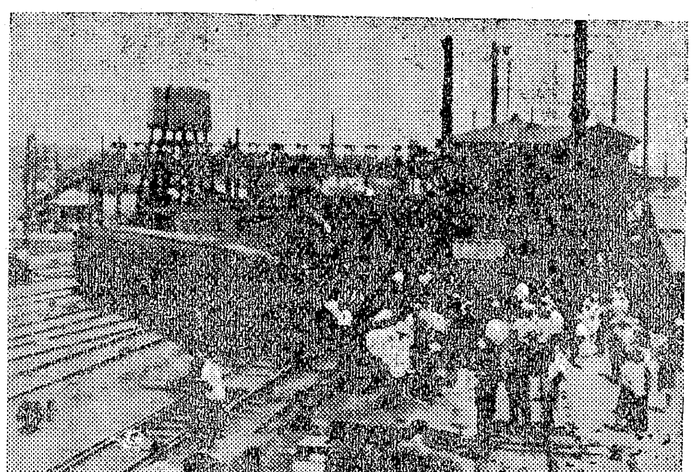
東北配電會社職員及び從業員の二十五年以上勤續優秀者の表彰式は去般行はれたその記念品は本十七日左記の諸氏に手交する

小名濱電業所安田久藏、平營業所宍戸三好、同高橋義重、四ツ倉電業所吉田明、同平間亀一、同變電所遠藤林平、木戸第一發電所鹿又善三郎、同變電所成田熊藏湯本第三變電所矢内恒三

平驛で脱線轉覆

信號手の誤認から事故

十六日午後一時五分平驛構内に於て上り二四六旅客列車の入換作業運轉中ポイントの誤認から貨物線に進入貨車一台と接觸横倒して構内南側に在る東部信号所に突入、建造物と信号設備器を滅茶苦茶に破壊し平驛始めてのちゆん事を引起した客車は二輛顛覆一輛脱線車体は破壊され車輪は線上に飛散莫大な損がいを與えた、入替さ業中の連結手二名は危險寸前に飛降りた爲め人命に異狀はなかつた、保線區員出動直ちに復舊さ業に着手したが、誘導信号パイプの大半が破損したゝめ復舊は本朝までかゝる見込み原因東部信号所レバー係渡邊功(三六)ポイント係後藤忠司(三三)指令係渡邊芳松(三七)さんの三名が電氣ボイントを誤認し轉徹機操さを誤つた爲岐線に突入したもので之れが爲上り一時四十二分列車は一時間延發した



【上】平驛構内轉覆事故現場【下】横轉した客車と復舊作業

豫防接種法に就て

何故注射をせねばならぬか

平市　小谷衛生課長

最近各地に於て一齊にチフスの豫防注射や種痘等が行が行われて居ります、これは一昨年の秋國會を通過して制定せられた豫防接種法に基いて行われて居るのです、從つてこれは以前に行われておりました豫防注射の様に受けるのも受けないのも自由と云うのではなく日本國民である以上、必ず受けねばならない様に規定されたのです、これは從前の第一期種痘が國民の義務として必ず受けねばならなかつたのと同じことなのです、從つて理由なくしてこの豫防注射を受けない人々には法律で定められた罰則が適用せられます、何故この様に國が法律を制定して迄國民に豫防注射をきびしく強ひねばならなかつたかと云ひますと、一つには公衆衛生學の進歩が色々な傳染性疾患の大部分は豫防注射の完全な施行によつてふせぎ得ると云う自信を人類に與へたことゝ二つにはそれにも拘らず日本國民の文化的水準の低さが自ら進んで自分達の安寧福しを守るため予防注射を受けると云う處迄達しておらないと云う理由によつたものと考へられます

若し日本が今から少くとも十年前に此の法律を實施しておりましたら世界の文化國家として最下位にある日本の死亡率を非常に低下させることが出來たであろうと思はれます、この様なわけで漸く此の一月から本格的に予防接種法が實施せられることになりました

私達な住みよい樂しい日本をつくりますために又私達各個人の幸福を築き上げますために積極的に進んで予防注射を受ける様になりましよう、その爲に私達は先ず予ぼう注射に關して正しい理解を持つ様にしなければなりません、これから簡單に説明してみましよう、よく予ぼう注射は効果がない、受けても病氣をするときはするといわれますが、それだから豫ぼう注射は駄目だと云う理由にはなりません、或程度數ある豫ぼう注射の中には現代醫學の力をもつてしては完全豫防の目的を達せない様な豫防注射もありますが、そのことよりも正しい豫防注射を受けない爲に予防注射の持つ偉力を十分に發揮し得ない場合の方が遥に多いことを知らねばなりません、適常な時期に正しい予防注射を受けるとしたら効果は現在の數倍になると思はれます

(以下次號)

火防組の事業

各種計画案なる

一昨十五日市役所に火防組幹事會を開き今年度の事業計畫を

横斷幕(十張)市内十ケ所に張り市民の火防精神を高揚する、中小校生徒の作文の募集、火防標語の募集、一般市民中小校生徒から組の功勞者表彰資金造成、火防圖講展覧會等である

營林署の被害

平營林署管内豪雨による被害は實地調査の結果上小川林道(自動車)破壊二一五米二十五万円、高部林道(仝)一二〇米、三十万円、神樂山林道(森林鐵道)三一〇米二十五万円、計七十五万円

鞄七万圓在中

入浴中窃取さる

石城郡磐崎村上湯長梅ケ平四七管組事務所内現場主任村松守さんは十四日午後十時五十分から二十分位同事務所近くの野天風呂に入浴中、事務所内居間へ賊に入られ赤革手下鞄一箇時價三千六百円相當、現金七万五千円並に書類をゴツソリ盗まれた

借金返済に

精米を窃取

石城郡上遠野村字原前ボンセンベイ菓子業松崎昭榮(二三)は友人の同字農業鈴木省三君から小豆代を五千圓預つたのを奇貨として賭博に費消してしまひその返濟に窮して去る五月三日午後十時頃同字小ぶち農業遠藤春喜方の物置から精まい三俵、時價八千円相當を盗み出した事がわかり十五日植田地區署に捕つた

配給機構緩るむ

準農家は一般消費者並

準生産農家に對する還元配給は大幅に强化され昨年七月から實施されて居たが、其の後の食糧情勢の變化によつて從來の農家世帶區分から準生産農家の區分をなくし農家、非農家の二本建で進むことになり關係法令の改正を急いで居る、取敢ず從來の準生産世帶については一般消費世帶に準じて近く斷定的に取扱うことになり本年度産麥、馬鈴しよ雜穀類は配給差引を行なはない、尚準生産農家とは畑三畝以上五畝未滿、田二畝以上三畝未滿の排作者となつてゐる

郡下港灣改修費

縣費二千五百万圓に決定

去般縣内土木監督所長、各出先事務所長會議を開き本年度事業及び豫算に就き協議を行つた、本年度縣執行土木事業費は三億二千七百十五万円、公共業事費十一億五千三百五十万円となつて居り、石城郡下港灣改修費として江名一千五百四十五万円となつてゐる、尚久の濱は五百六十万円である

大塚市議母堂

平市一丁目大塚駒太郎氏母堂コマ(九三)さんは十五日午前八時老衰の爲死去された

となつている

徐行信號灯

勿來―植田間盗る

十五日夜常磐線勿來―植田間の臨時じよ行燈(呉羽人絹工場前)が蓄電器もろとも盗まれてゐるのを發見平鐵道公安官が悪質な列車妨がいとみて犯人捜査中

寫眞發表會

十六日より三日間にわたり平工校寫眞部の作品發表會は同校内に開いてゐる作品の他參考品多數がある

本持主に戻る

盗れたリヤカー

平市長橋町六〇建具商小菅保次郎(三九)さんが十五日夜九時半頃内郷町からの歸途同字小島新縣道と常磐線下道ろ間に持主の居ないリヤカーが捨てられて居るのを發見不審に思つて平市署に届出たところ同市南町四一薪炭生産業合津勝巳さん方で十三日夜盗まれたものと判明無事同人の手に戻つた

魚菜相場

【鮮魚市況】

―十六日現在―

(單位貫)

かつを	一八〇―一三〇円
あじ	一八〇―一五〇円
すずき	三〇〇―二五〇円
小たい	五〇〇円

【青果市況】

―(マルサ市場)―

きやべつ	一八―一五円
さやえんどう	一三〇―五〇円
馬鈴しよ	四五―二五円
玉ねぎ	四五―三五円
大根	二四―一二円
えんげん豆	二六〇円
たけのこ	一〇―七〇円
きり芋	二〇〇円
京菜(一把)	七―四円
きうり	八五―七五円

株式市況

(磐城證券)

―十六日現在―

賣物うすれ小確りして幾らか明るさを取戻して來た店頭の三菱地所が四五五円迄の高値あり波らんを演じたが終り三四〇円であつた

東海上	二五三	日麥酒	四三〇
新郵船	九九	朝麥酒	四三五
三井船	七七	キリン	四八〇
日發	三五	寶酒造	一四三
三井山	四四	野田醤	三六五
日石	六〇	豊年油	一二九
三井造	八三	高壓	五〇
日立	二四五	日產化	五六
鋼管	三六	呉羽化	五〇
東洋紡	一五〇	苫小牧	一四〇
鐘紡	一二〇	十條紙	一五三
日清紡	二四五	本州紙	一六〇
呉羽紡	七六	日セメ	五六
日東紡	六六	磐城セ	一六七
片倉	四〇	小野田	一〇六
帝人	一〇〇	不動新	三三三
東洋レ	八一	陽和不	三二〇
新光レ	一三七	開東不	三三五
山パル	一六三	三越	四三〇
東北パ	一三三	日活	一三八

電柱廣告請負者募集

平市、石城郡、双葉郡に亘る管内電柱廣告請負者を次により募集する

一、請負區域
平市を中心とする者(含湯本町、内郷町)　一名若くは二名
小名濱町を仝(含江名町)　一名
四倉町を仝　一名
植田町を仝(含勿來町、入遠野村)　一名

二、資格
看板業者並びにこれに關係ある職業の責任觀念旺盛なる方

三、申込方法
希望者は豫め請負ふべき市、町、村名を申出ること、但し仝一町村に對し二名以上の希望者ある場合は入札を以て定める
其他詳細は左記に問合せのこと

四、〆切　六月末日

平市大町　電話八六〇番
東北配電株式會社
平營業所

外科　胃腸

外科一般　整形外科　性病科　皮膚科　肛門科
松村亨

内科　胃腸科　呼吸器科　放射線科
松村鐵郎

平市南町　電一〇七
松村醫院

お節句用として是非!!!
自由販賣砂糖を
白土屋食料品店
平市銀座通り　電話四五七番